

高蔵寺ニュータウン50周年記念出版

# ニュータウンの 計画資産と 未来のまちづくり

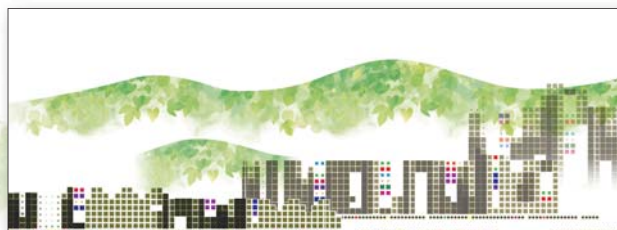
高蔵寺ニュータウンの50年に学ぶ

服部 敦 著

中部大学教授(工学部都市建設工学科)。工学博士。  
都市計画、都市デザインに関する教育・研究のかたわら、  
各地のまちづくりの計画策定、地域プロジェクトの企画・  
運営などを支援。2013年愛知県春日井市市政アドバイザー  
(主に高蔵寺ニュータウン担当)に就任。「高蔵寺リ・  
ニュータウン計画」をリードしている。

高蔵寺ニュータウンは、入居開始から50年を経て、4万人以上の人口を抱える住宅都市になった。高度成長期、この新たな住宅都市を創造するために、気鋭の都市計画者が集められ、意欲的なマスタープランがつけられた。

計画者たちはそこにどんな思想をこめたのか。それは、現在、どのような資産として表われているのか。住民、行政などの連携・協働を高めつつ、ニュータウンのリノベーションに取り組む筆者が、当初の設計図をひもといて計画意図を明らかにし、未来のまちづくりを考える。新しいまちの設計図を次の世代に手渡すために。



服部 敦 著

高蔵寺ニュータウンの50年に学ぶ  
ニュータウンの  
計画資産と  
未来のまちづくり

高蔵寺ニュータウン50周年記念出版

50年前、高蔵寺ニュータウンを描いた  
まちの設計図を、  
私たちは、  
どう未来に手渡せばよいのだろうか。

高蔵寺ニュータウンの次の50年へ――。  
1968年、入居開始からの50年を振り返り、未来に向けたまちづくりを考える。

サイズ ■ 新書版(縦173mm×横115mm)  
ページ数 ■ 本文208ページ(カラー8ページ)  
定 価 ■ 1200円+税

## 目 次

## 第1章

## ニュータウンのいまの姿と50年間

1. 三大住区と幹線道路
2. ワンセンターとオープンコミュニティ
3. ペDESTリアン・デッキと都市軸
4. 緑道とオープンスペース
5. 集合住宅群と戸建住宅地
6. 計画されない資産・人々のつながり

## 第2章

## マスタープランが描いた未来

1. 1960年代に描かれた「明日の高蔵寺」の姿
2. 策定プロセスからたどるマスタープランの本質的なねらい
3. マスタープランが残した課題

## 第3章

## リ・ニュータウン計画の目指す未来

1. ニュータウン問題の顕在化
  2. リ・ニュータウン計画に至る経緯
  3. リ・ニュータウン計画の構成と概要
  4. リ・ニュータウン計画の実施状況
  5. ニュータウンの計画資産を活かしたまちづくりへ
- 付録1 高蔵寺ニュータウン50年の年表  
付録2 50年の変遷をたどる諸データ

